



G7 広島サミット 保健アジェンダへの提言

COVID-19 からの教訓を活かし、SDG3 への進展を促進する：行動のためのロードマップ

2023年5月12日[金] 16:30～18:30

イノホール&カンファレンスセンター Room A（飯野ビルディング4階）東京都千代田区内幸町2-1-1

Zoomウェビナー ハイブリッド開催

●定員（先着順） 会場参加 50名/オンライン参加 400名

参加無料

日英
同時通訳
つき

C COVID-19 の対応で上手く機能したイノベーションや改善すべきことからの学びを積み上げるため、国際社会は、COVID-19 で学んだ教訓から戦略的なコミットメントをつくり上げることが求められています。パンデミックは、SDGsの達成、特に健康で安心な生活を送ることの重要性を強調しました。

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）達成の国際的主導を日本が表明した2016年のG7伊勢志摩サミット以降初めてであり、かつ、SDGs実施の中間年である2023年に日本がG7サミットの議長国を務めるにあたり、保健アジェンダの議論の進展に大きな期待が寄せられています。

本シンポジウムでは、日本ならびに国際的に保健医療の政策・システムの構築を牽引しているの方々をお招きし、ポストコロナ時代を見据えた国際保健の課題やその解決策について議論を深めていただきます。

PROGRAM

※敬称略 プログラムは予定であり、変更の可能性がございます。

オープニング ●岡田 安史 日本製薬工業協会 会長

基調講演 「より強靱・公平・持続可能な保健システム」と「イノベーションへの持続可能な投資」に対する G7 の役割と責任、革新的な製薬企業への期待

- 武見 敬三 参議院議員、自民党国際保健戦略特別委員会委員長
- 鈴木 康裕 WHO（世界保健機関）執行理事、国際医療福祉大学学長、元厚生労働省医務技監

パネルディスカッション 「COVID-19 からの学び、次なるパンデミックへの備えと対応」

- 武見 敬三 参議院議員、自民党国際保健戦略特別委員会委員長
- 國井 修 公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）CEO
2023年 G7 グローバルヘルス・タスクフォース 副主査
- フルウェン・フィルポット IPPS（国際パンデミック・プリペアードネス事務局）事務局長
- トーマス・クエニ IFPMA（国際製薬団体連合会）事務局長

クロージング ●トーマス・クエニ IFPMA（国際製薬団体連合会）事務局長
進行 ●坂元 晴香 日本医療政策機構 シニアマネージャー

●お申込み： Web サイトよりお申込みください
<https://www.jigyou.com/g7proposals/index.html>

●お問い合わせ：JPMA-IFPMA シンポジウム事務局（オスカー・ジャパン株式会社 国際事業部）
事務局メールアドレス：jpma-ifpma2023@oscar-japan.com

